

事務事業チェックシート

事務事業No 488 事業名 京奈和自動車道整備促進事業

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	1	道路網の整備
施策	1	基幹道路網の整備
基本方針	1	広域幹線道路の整備促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	土木費	
	項	都市計画道路費	
	目	京奈和自動車道建設事業費	
	大事業	京奈和自動車道建設事業	
	事項	京奈和自動車道整備促進事業	

事業種別		主な事務事業	○
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	第二阪和・京奈和関連建設事務所	池端 章(435-1077)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束	インフラ整備（和歌山中央インター、市内環状道路、東西道路、南北道路）			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	京奈和自動車道について早期完成を促進する。	和歌山県京奈和自動車道建設促進協議会へ負担金を支払うと共にその事務を行う。和歌山県と連携を図りながら、早期開通をめざす。また、国土交通省から用地事務の委託（受託事務）を受け、用地買収を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		和歌山県京奈和自動車道建設促進協議会に負担金を支払うと共にその事務を行う。国土交通省に対し要望活動を行い早期開通を目指す。また、用地買収事務を行う。	和歌山県京奈和自動車道建設促進協議会に負担金を支払うと共にその事務を行う。国土交通省に対し要望活動を行い早期開通を目指す。また、用地買収事務を行う。	和歌山県京奈和自動車道建設促進協議会に負担金を支払うと共にその事務を行う。国土交通省に対し要望活動を行い早期開通を目指す。	和歌山県京奈和自動車道建設促進協議会に負担金を支払うと共にその事務を行う。国土交通省に対し要望活動を行い早期開通を目指す。	和歌山県京奈和自動車道建設促進協議会に負担金を支払うと共にその事務を行う。国土交通省に対し要望活動を行い早期開通を目指す。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	577	2,610	577	564	577		577		577		
	伸び率 (%)	-	-	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	24,872	12,892	12,892	9,022	9,022		9,022		9,022	
		非常勤職員	4,505	4,909	4,909	0	0		0		0	
		小計	29,377	17,801	17,801	9,022	9,022		9,022		9,022	
	国庫支出金	0	0	0	0	0		0		0		
	県支出金	0	0	0	0	0		0		0		
	市債	0	0	0	0	0		0		0		
	その他	0	2,033	0	0	0		0		0		
	一般財源（税等）	577	577	577	564	577		577		577		
	所要人数	常勤職員	3.35	1.72	1.72	1.19	1.19		1.19		1.19	
非常勤職員		0.86	0.96	0.96	0.00	0.00		0		0		
主な予算内訳												

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
					年度目標値				
					実績値				
	単位	全体目標値	全体目標達成度		年度別達成度				
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	京奈和自動車道による走行距離				年度目標値	40	40	40	
					実績値	28	28		
	単位	k m	全体目標値	40	全体目標達成度	70.0%	70.0%		
					年度目標値	2	2	2	2
					実績値	2	4		
	単位	回	全体目標値	2	全体目標達成度	100.0%	200.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	順調に事務を執行した。
「見直し」 「改善」案	なし